



# かもめ便り

社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院  
理事長兼院長 福永 明広

シーガル病院

検索

## 記事紹介

ワクチン集団接種	1面
陸路避難訓練	2面
配食サービス	2面
辞令交付式	3面
職員表彰式	3面
給食だより	3面
Dr.'sエッセイ	4面

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

## シーガルニュース

## 新型コロナワクチンの集団接種を行いました

4月19日～23日にかけて、医療従事者へ1回目の接種が行われました。接種人数は210名。ワクチンの保管期間が短いため、短期間で多くの接種を行う必要があります。

当院での大規模な接種は初めてだったため、事前にリハーサルも行いました。また会議室に接種会場を設け、受付・問診・接種・経過観察に各職員を配置し、副反応対応として薬やベッド、AEDや酸素吸入器などを準備し、様々なケースを想定して本番に備えました。

初日の接種では混乱等も想定されるため、人数を18名と制限し接種を行いました。最初に院長が接種をし、続いて職員の接種が開始されました。初日ということもあり、注射器の準備等で時間がかかることもあったのですが、大きな混乱はなく無事に初日を終わりました。



2日目以降は接種人数を増やし、午前と午後に分けて行われました。初日の反省を踏まえ、開始前から準備を行った結果、想定よりも短時間で接種を終えることができました。副反応が発生した職員もいましたが、迅速に対応ができ、数日で回復し職場にも復帰しております。

5月10日～14日には医療従事者への2回目の接種。5月26日には入院患者（後期高齢者）1回目、6月16日に2回目終了しました。今後、6月下旬からは主に基礎疾患を有する入院患者を中心に接種を行い、7月末までには約7割の方への接種が完了します。（接種終了後でも、全職員へのマスク着用は継続して行っております。）

現在当院では、長期間にわたり原則面会禁止（オンライン面会を実施中）の状態が続いており、ご家族を始め皆様にはご不便をおかけしております。今後の対応ですが、順調にワクチン接種が進み、近隣の感染状況も減少傾向になれば、条件付きで面会を再開したいと検討しております。1日でも早く再開できるよう、今後も迅速に取り組んでまいります。



## シーガルニュース

## 陸路避難訓練を行いました

3月24日(水) この1年間で入職した職員を対象に、陸路避難訓練を行いました。

当院の裏山を登るルートで、頂上付近にある旧鳴門ハイツまで行きます。道中は急勾配の坂や落ち葉が降り積もっており、足元に気をつけながら登りました。

約20分で旧鳴門ハイツに到着しました。到着後、衛星携帯電話とトランシーバーの通話訓練を行い、当院で待機しているスタッフと通話ができるか確認しました。



下山後には、ライフラインが寸断された際の対応方法について、視察と訓練を行いました。酸素ボンベの運搬を体験しましたが、たいへん重く、斜めに立てて転がしながら運ぶ方法を体験し、今回の訓練は終了しました。



## 地域交流

## 配食サービスを実施しました

4月6日(火)と5月11日(火)鳴門市瀬戸町の堂浦地区に配食サービスを行いました。

年に数回、堂浦地区と明神地区にお住いの高齢者の方を対象に、お弁当をお配りしております。

今回はお弁当と一緒に、多機能型支援事業所ジョイナスで作成した布マスクも配布し、大変ご好評いただきました。今後も、直接お声掛けをしながらお届けできるように、続けていきます。



## シーガルニュース

## 令和3年度 辞令交付式

4月1日（木）、令和3年度辞令交付式が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、4月1日付で入職となった方のみの参加となりました。

理事長の挨拶の後、新採用職員ひとりひとりに辞令が手渡されました。



## シーガルニュース

## 令和3年度 職員表彰式



6月2日（水）職員表彰式が行われました。毎年行われており、この1年間で勤続30年以上と15年以上になる方、当法人の運営に、より一層貢献した個人やグループを対象に表彰されます。

今年度は、計8名の方々が表彰されました。おめでとうございます。

## 給食だより



新型コロナウイルスの影響で行事が減り、「患者さんの楽しみの1つである食事で何かできないかなあ」と日々考えていました。そこで今回は趣向を変えてみようと思い、初めて『お弁当形式』で提供することにしました。お弁当にもたくさん種類がありますが、今回はコンビニやお弁当屋さんによくおいてある“のり弁”にしました。

のり弁の中身は、ごはん、白身魚フライ、ちくわの磯辺揚げ、金平ごぼう、だし巻きたまご、タコさんウイナー、花らんまん漬、カツオおかか、のり。それにお味噌汁とヨーグルトを付けました。



お弁当の中身はこれまで食べ慣れたものばかりなのですが、いつもと違う「お弁当形式」にしたことで雰囲気が変わり、大変好評でした。また、給食職員が描いた“のし紙”を付けたことで、お弁当に何が入っているかがよく分かり、これも好評だったように思います。



患者さんからは、「美味しかった」「また来年もお願いします。」などの声を頂きました。

秋頃には、第2弾も検討中！！これからも皆さんに喜んで頂ける食事を提供していきたいと思えます。





1年半を超える新型コロナウイルス感染症の拡大は、未だ我々の生活に大きな影響を与え続けています。そんなコロナ禍を終息させる切り札として大きな期待が寄せられているのがワクチンです。世界中が注目していることもあり、ワクチンについては連日様々な情報が飛び交っています。中には明らかに事実ではなかったり、不正確であったりする情報もあるようです。

このように不正確な情報も含めて大量の情報が氾濫し、現実社会に影響を及ぼす現象は「インフォデミック」とも呼ばれています。コロナ禍における情報の濁流の中で、正しい情報をキャッチするにはどのようなことに気をつければよいのでしょうか。

まずひとつは、「情報がどこからのものであるか確認する」ということです。

間違っていたり、不正確な情報の多くは、出どころがはっきりしないことが多いです。「知人の医療者から聞いた」といった、実在するかどうかわからない伝聞情報であったりもします。厄介なのは医療の専門職や学者・研究者が言っているようなことでも、しばしば間違っていたり不正確だったりするものが含まれるということです。したがって、なるべく「公的な機関」を情報源とすることが望ましいです。新型コロナやワクチンに関する公的な情報源としては政府広報や厚生労働省、内閣官房、国外の機関であればWHOやCDC、FDAなどが該当するかと思います。

もうひとつ大事なことは、「情報から適度な距離をとること」です。多すぎる情報の中で不安になったり、混乱したり、疲れてしまったりしたときは、一旦ネットやテレビ

などのマスメディアから距離をとることも大切です。人間は非合理的な生き物です。不安になるとそれを正当化するために、わざわざ不安を煽るような情報ばかりに触れてしまい、余計に不安を強めてしまいます。ネットやテレビを観る代わりに散歩をしたり、読書をしたり、音楽を聴いたりして心身をリラックスさせる工夫をしてみましょう。

コロナ禍という困難の中でも、溢れかえる情報とうまく付き合いながら、しなやかに生きていきたいものです。

医師 渡部真也

## 【編集後記】

年度が変わって初めての広報誌が完成しました。ワクチン接種が進んでいます。油断せず感染予防を引き続き行っていきましょう。

次号（『かもめ便り』第27号）は、2021年9月に発行の予定です。

広報委員会

社会福祉法人 小瀬会URL



## 鳴門シーガル病院 交通案内

- JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

- 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分～30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

